



「とよたビジョン」(実績報告書・事業実績一覧) 概要版




1 ビジョン作成の経緯

ラグビーワールドカップ 2019™ を契機に、おもてなしの向上や市民が生涯活躍する社会の実現などのよりよい財産を残すことを目指して、大会およびその後に残る市のまちづくりの方向性を定めた「とよたビジョン ver.1」を平成 29 年 6 月に作成

2 ビジョンの 4 つの柱

柱①	まちを元気に!	大会等に市民が触れる、交流の促進
柱②	ひとが活躍!	人材育成による意識の醸成、スポーツ振興
柱③	まちが変わる!	基盤整備、観光都市化、文化振興
柱④	まちを魅せる!	先端技術等でシティプロモーション

3 ビジョン達成への主な取組実績 (一部抜粋)

柱① まちを元気に!	<p>○大会開幕に向けた節目イベント及び豊田スタジアムでのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 1,000 日前、500 日前、100 日前等の節目イベントを実施 愛知・豊田ラグビーフェスタを平成 28 年度から 4 年連続で実施 <p>○おもてなしイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催日に実施し、延べ 107,300 人が来場 駅前通り、とよしば、GAZA 南広場、矢作川河川敷等で実施 行政、民間の様々な団体が体験イベントやステージイベント、飲食物等の販売を実施 <p>○ファンゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中にスカイホール豊田で 10 日間実施 パブリックビューイング等を実施し、延べ 60,432 人が来場 <p>○イタリア・ニュージーランド博物館 特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中に松坂屋豊田店で実施し、延べ 13,000 人が来場 <p>○地域交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年 9 月にウェールズ代表が崇化館中学校を、10 月にイタリア代表が童子山小学校を訪問 児童生徒による国歌の斉唱など歓迎の気持ちを表すおもてなしや、ラグビー体験等を通じた選手との交流事業を実施 	 <p>1,000 日前イベント</p>  <p>おもてなしイベント</p>  <p>ファンゾーン</p>
	柱② ひとが活躍!	<p>○ボランティアの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会に向けて平成 29 年 5 月に RWC 支援ボランティア事務局を設立 大会までにトップリーグなど計 5 度の活動機会を創出 大会期間中は、大会公式ボランティアが 23 日間で延べ 2,584 人、開催都市独自ボランティアが試合開催日で延べ 307 人活動 <p>○タグラグビー教室 (トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が小学生以上を対象に指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度と 30 年度に月一回の頻度で実施し、2 年間で延べ 1,373 人が参加。また、令和元年度も 11 月より月 1 回の頻度で実施中 <p>○豊田市わがまちアスリート応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「豊田市わがまちアスリート」の認定が平成 28 年 4 月から開始し、令和元年 12 月現在で、姫野和樹選手など 22 人を認定

柱③
まちが変わる!

柱④
まちを魅せる!

<p>○「とよしば」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年 9 月 20 日に豊田市駅東口まちなか広場(愛称:とよしば)の整備を完了し、供用を開始 試合開催日は、おもてなしステージ等として活用 <p>○新豊田駅東口駅前広場等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年 4 月 1 日に駅前広場(「新とよパーク」)の再整備を完了し、供用を開始。なお、令和元年 8 月 19 日に、一般社団法人国土政策研究会が立ち上げた「第 5 回まちなか広場賞」の特別賞を受賞 <p>○矢作川水辺プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催日に千石公園及び白浜公園において、河川空間の魅力を市内内外に発信する矢作川フェスタを実施 <p>○豊田スタジアムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会に向けて、2 基目の大型映像装置の設置や照明設備、音響設備、手すり等の改修を実施 <p>○あいちトリエンナーレ 2019</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市美術館及び豊田市駅周辺 7 か所で現代アート作品の展示等を行い、75 日間で、延べ 121,687 人が来場 <p>○東京キャラバン in とよた</p> <ul style="list-style-type: none"> メインイベントを平成 30 年 7 月 22 日、鞍ヶ池公園プレイハウス芝生広場で実施し、延べ 550 人が来場 <p>○幹線道路等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の拡幅、整備を実施し、安全で円滑な移動に寄与 ①国道 153 号豊田北バイパス平戸大橋区間の新設整備 ②国道 301 号野見山工区の拡幅整備 ③(都)豊田則定線(高橋)の拡幅整備 等 <p>○危機管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催日等において、市災害対策本部が「ラグビーワールドカップ特別チーム体制」を、市消防本部が「ラグビーワールドカップ 2019™消防特別警戒体制」を構築し、運営 <p>○防犯カメラの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田スタジアム(117 台)及び豊田市駅から豊田スタジアムまでの間(10 台)に防犯カメラを設置 	 <p>「とよしば」</p>  <p>2 基目の大型映像装置</p>  <p>平戸大橋の整備</p>  <p>高橋の 4 車線化</p>  <p>愛知県国民保護共同実動訓練</p>
<p>○豊田市 PR 動画</p> <ul style="list-style-type: none"> PR 動画「こんな豊田市知らなかった」を YouTube に掲載するとともに、大会期間中には、ファンゾーンやおもてなしイベントで放映 (YouTube 視聴回数は、平成 29 年 10 月から令和元年 12 月の間で約 260 万回) <p>○美味しいとよたの PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ラグビー日本代表選手や名古屋グランパスの選手などに対して、計 4 回豊田市産の農産物(梨、桃、新米)を贈呈 <p>○シティドレッシング</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市駅周辺をバナー等で装飾するとともに、豊田参合館の壁面装飾、とよたおいでんバス(3 台)のラッピングを実施 <p>○主要観光地と都心における案内看板・標識等の多言語化推進、再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市駅から豊田スタジアムやスカイホールへの動線等のサイン施設 30 基について新設、更新するとともに、主要観光地等において、多言語看板 121 基を整備 	 <p>農産物贈呈 (ラグビー日本代表)</p>  <p>壁面装飾 (豊田参合館)</p>